学校だより

つ ち の こ

令和８年８月 25 日
長崎市立土井首小学校
校　長　　小柳　暁

おりこういっぱい　土の子保護者及び地域の皆様　いつもお世話になっております。

今日は、南部給食センターの給食提供に関するリハーサルの実施に当たり、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。子どもたちの元気な声、笑顔と一緒にいただく給食は、やはり格別です。今回のリハーサルで見えた改善点等を、２学期からに生かしていきたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。

１学期をもって本校の給食室とはお別れになりました。終業式の日に行った調理員さんとのお別れ集会で、こんな話をしました。ご一読ください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

皆さん、今日は、１学期の終業式という大切な日に、もう一つ、私たちの学校にとって、とても大きな「お別れ」があります。

それは、これまで毎日、美味しい給食を作ってくださった、この「土井首小学校の給食室」、そして「調理員さん」とのお別れです。

調理員さんの仕事は、私たちが思う以上に大変なものです。 夏はとても暑く、冬は凍えるように冷たい水の中でも、片時も休まず、何百人分もの野菜を切り、重い釜を混ぜてくださいます。 作った後は食器や道具を洗い、給食室をきれいに掃除します。多くの体力と細かな心配りを必要とする大変な作業です。

とっても大変なんだけど、「みんなに安心して美味しく食べてもらい、元気になってほしい」という気持ちで働く調理員さんのおかげで私たちは給食をいただくことができていたのです。

この調理員さんの姿こそ、「なりたい自分になる！やりたいことをやる！」です。

みんなが授業で真剣な目をして学び、休み時間に元気に遊び、そして行事で力を出し切る。それを、給食を通して支える。これが調理員さんのなりたい自分なのです。心から感謝したいと思います。

２学期からは、新しくできる「南部学校給食センター」から給食が届くことになりますが、この調理員さんたちの思いを忘れず、きちんといただきたいものです。

そんなことを思い浮かべながら、今日の集会で、これまでの感謝の気持ちをしっかり伝えるようにしましょう。これで終わります。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

私たちの身体は、私たちが食べたものでできています。だから給食は、子どもの身体づくりになくてはならないものなのです。だから、安全でおいしい給食を提供することが、子どもたちが安心して学ぶ学校づくりにつながるのです。

これからは、南部給食センターの皆さんが、子どもたちの身体づくりを、汗だくになりながら一生懸命支えてくれます。

同じ社会人として、私たち大人は、その労働への感謝と尊敬を、決して忘れてはいけないと思います。

学校教育目標 **「なりたい自分になる！やりたいことをやる！」**

150 周年ｽﾛｰｶﾞﾝ **「151 年目もチャレンジして、感謝とあいさついっぱいの学校にしよう」**